

<設備名称> バイポーラ電源

<管理担当者> 秋田大学大学院 工学資源学研究科
電気電子工学専攻 鈴木雅史 教授

<設備構成>

名称	型番
1.バイポーラ電源	BP4620
(エヌエフ回路設計ブロック株式会社)	



<測定原理・その他の詳細>

高電圧: $\pm 60V$ (シフト可), 大電流: $\pm 20A$ (60Ap-p), ハイスピード: DC \sim 150kHz (CV, 調整特性), 定電圧: (CV) / 定電流 (CC) 動作を選択可能. プラスもマイナスもソース (供給) もシンク (吸収) も可能なバイポーラ出力に加え, 出力パターンを自在にプログラムできるシーケンス機能(255ステップのシーケンシャル信号源内蔵), レスポンスキャリブレーション機能, 電圧電流リミッタ, 計測表示機能を搭載.

<使用料> 100円/時

<設置場所>

秋田大学
ベンチャーインキュベーションセンター 201研究室

<使用例>

研究における電源(プラス電圧の出力からマイナス電圧までリニアに可変できる電源). 余剰汚泥の減量化実験において, 電磁石駆動のための電源に使用.